

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
さわやか愛の家くるめ館		2025年 2月 19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	バギーを置く場所、お子様が過ごす場所など、それぞれのスペースを区切りながら支援を行なっております。	車椅子やバギー等の置き場や訓練スペースの配置換えなどを行いながらスペースの確保に努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		現在職員5名体制で、保育士、看護師、理学療法士等も在籍しております。	現在5名体制で運営を行っております。安全な子ども達の受け入れのため、看護師や保育士等の増員も考えてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	入浴支援の際には、ポータブルバス等を使用したり、2人介助で行なったりと、安全に配慮しながら取り組んでおります。	入浴支援の際に、浴室が手狭で、バリアフリー化が求められます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を行い、職員間で相談しながらお子様が過ごしやすい環境作りに努めております。	人数や活動によっては十分ではないと感じられる部分もあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		お子様の状態に合わせて落ち着くことができる居場所作りに努めております。	パーテーション等を用いて個別対応を行えるよう環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		ミーティングや研修、会議等で情報を共有しながら取り組んでいます。引き続きより良い支援の為に取り組んでまいります。	日々の業務改善を行っていますが、不十分な面もある為、引き続きミーティングを行いながら進めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的にアンケートはがきを配布しております。また、ご意見ご要望等を真摯に受け止め、業務改善を図ってまいります。	毎年、お忙しいところアンケートにご協力いただきありがとうございます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々、支援の振り返りやミーティングを行ない、課題の抽出等を行いながら支援について話し合いを行なっております。	引き続きミーティングを行いながら、業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	事業所としては外部評価は行なっていませんが、本社による内部監査を定期的に行っています。	本社による内部監査は行われていますが、第三者による外部評価は事業所単位では行われていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月法人でのスキルアップ研修や事業所内研修を行なっております。	毎月研修を行い、事業所内でもアウトプット研修を行いながら多職種の研修をし、質の向上に努めております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		児童福祉法に沿って支援プログラムを作成、公表しております。	今年度より作成を行い、自己評価アンケートと一緒に保護者、職員にお知らせし、HPへの公表も行っております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントシートを用いながら、ニーズの把握に努めております。	十分な客観性が保たれているかということに関して図れませんが、アセスメントシートを用いながら取り組んでおります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で意見を出し合いながら計画を作成しております。	今後も引き続き子ども、保護者の意見を取り入れながら計画作成を行ってまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画書を職員間で確認し合い、支援を行なっております。	支援内容に関しては詳細に記録し、モニタリングに活用しております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	アセスメントシートを使用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに沿って計画を作成しております。	家庭、事業所のみならず地域の資源を活用しながら、連携を深めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で役割を分担し、作成・共有しながら取り組んでおります。	PDCAサイクルを回しながら、引き続き取り組んでまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		同じ活動内容でもお子様一人ひとりに合った内容を考え、成長を促すことができるよう日々取り組んでおります。	5領域に沿って活動を計画し、マンネリ化しないよう今後も工夫してまいります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせながら取り組んでおります。	現在理学療法士が専門的支援を行っております。今以上に連携を取りながら進めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		来所される前に、職員間でミーティングを行ない、支援内容や、活動内容を確認しながら支援を行っております。	毎朝ミーティングを行いながら打ち合わせを行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎後に、支援の振り返りや課題の抽出等、支援につながるような話し合いを行っております。	その日の出来事を職員で共有しながら、今後の支援に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録については、職員全員で読み合わせを行いながら情報の共有も含めて取り組んでおります。	記録に関しては、必ずその日に記入をするよう心がけております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		送迎時、保護者様と一緒にお子様の状況を共有しながら、最低でも6か月に1度は、個別支援計画の見直しを行っております。	短い期間で内容を検討しながら、必要に応じておこなってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		地域交流を積極的に行っていきたいと考えております。	一人ひとりの状況に応じて、活動を構成して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動内容や声かけの仕方などを工夫し、お子様の選び取る力を育てるための支援を行っております。	自己決定の機会を増やししながら、引き続き取り組みでまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者以外の職員も参加しております。	積極的に参加し、情報共有をおこなっております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		地域の社会資源を活用して支援をおこなっております。	まだ十分ではない為、対外的に活動を広げてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時にお子様の様子を積極的に聞くようにしております。	学校からは定期的にお知らせをいただいたり、安心メールへ登録を行い、情報の収集に努めております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	関係機関と連携しながら情報の共有に努めてまいります。	今後連携を取りながら、よりよい支援に向けて情報の共有をおこなってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		障害福祉サービスへの移行はまだ行っておりませんが、移行の際には情報の提供を行っていきたくと考えております。	今後連携を取りながら、よりよい支援に向けて情報の共有をおこなってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	管理者や児発管のみではなく、指導員の参加を促し、職員のスキルアップを目指してまいります。	地域の中での役割を果たせるよう体制を強化してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	関係機関と連携しながら地域交流を図っていきたくと考えております。	現在交流ができておりませんので、計画を立てて取り組んでまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		地域のニーズ等を知る上でそういった場に積極的に参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		保護者の方と密に連絡を取り合い、些細なことでも情報交換を行い、支援に活かしてまいります。	さまざまな方法で情報共有しながら、子どもたちの為に日々取り組んでおります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	ご家庭での悩みなどから支援方法を保護者の方と一緒に考える機会を設けてまいります。	計画的に開催できるよう体制を整えてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		ご契約の際に、利用契約書・重要事項説明書について詳しくご説明をさせていただいております。	HPへの掲載だけでなく、多様な手法にて情報が確実に届く体制づくりをおこなってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者の方やお子様との情報共有を行いながら放課後等デイサービス計画の作成を行っております。	より一層最善の利益の保障のために、意見を聴く機会を増やしてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		放課後等デイサービス計画を用いて詳しくご説明させていただいております。	より一層最善の利益の保障のために、意見を聴く機会を増やしてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の方からのご相談に対して迅速丁寧に対応するよう心がけております。	気軽に相談できるような体制づくりをおこなってまいります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	現在交流の場を設けることが出来ておりませんが、今後そういった場を設ける際には、開催内容についてご意見等を取り入れながら検討していきたいと考えております。	保護者会の開催や交流の機会を設けて、家族の方々も楽しんでもらえるよう計画していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		問題解決に向けて、意見を真摯に受け止め改善に努めてまいります。	引き続き対応体制の強化を行い、法人全体での公開をしていけるよう体制づくりをおこないます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPのブログや、Instagram等でお子様の活動の様子や支援内容等引き続き更新してまいります。	今後より伝わりやすい方法を模索してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意を行なってまいります。	個人情報の取り扱いには十分注意し、ご安心して利用していただけるよう方針を強化してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		情報伝達については、分かりやすい口頭だけでなく、有効なツール等を用いながら伝えるよう努めてまいります。	手話やコミュニケーションの技能の習得をおこない、幅広いニーズに応えられるよう体制を整えてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	イベントを行う際には、地域の方もお招きして交流を深めていきたいと考えております。	積極的に行事の計画をおこなったり、参加を促し、地域とより密接に関われるよう取り組んでまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルは策定しており職員への周知は行っておりますが、保護者の方への周知は不足しております。契約時にお伝えするように致します。	より具体的なマニュアルへと見直ししながら、より実践的な訓練を行えるよう整えてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPは策定しており、定期的に避難訓練・研修等を行っております。	研修等に参加し、計画の見直しを行いながら、引き続き安定した事業運営が出来るよう取り組んでまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に、保護者の方と服薬の確認やてんかん発作時の対応の仕方など情報共有を行っております。	契約時のアセスメント、定期的なモニタリングの際に引き続き確認をおこなってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		意思の指示に基づき個別で対応させていただきまします。	調理場や提供状況を整備し、アレルギーの方の受け入れについても万全に整えてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		最低月に1回は安全計画を作成し、研修や訓練等を行っております。	定期的に安全計画の見直しを行い、訓練を通じてより安心安全にご利用いただける環境を整えてまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		事業所内で誰でも閲覧できるよう保管しており、HPにも掲載しております。	公開だけでなく、定期的に資料を配布するなどして、把握していただけるよう努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが発生した場合は、職員間で情報を共有しながら再発防止に取り組んでおります。	法人全体でヒヤリハットの共有、分析、対策機能を強化し、より強固な安全対策のための体制を整えてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止のポスター掲示も含め、職員全員で虐待防止に努めてまいります。	不適切な関わりについても常に意識し、事業所全体で考えてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		万が一、やむを得ない場合で身体拘束が必要な事象が起こった場合、「3要件に当てはまる緊急やむを得ない場合」に該当するかを確認し身体拘束基準マニュアルに則り対応を行ってまいります。	より精密な状況の想定や身体拘束解除までのプロセスを提示するなど体制を強化してまいります。